大阪教育大学から、

海外留学

ガイドブック

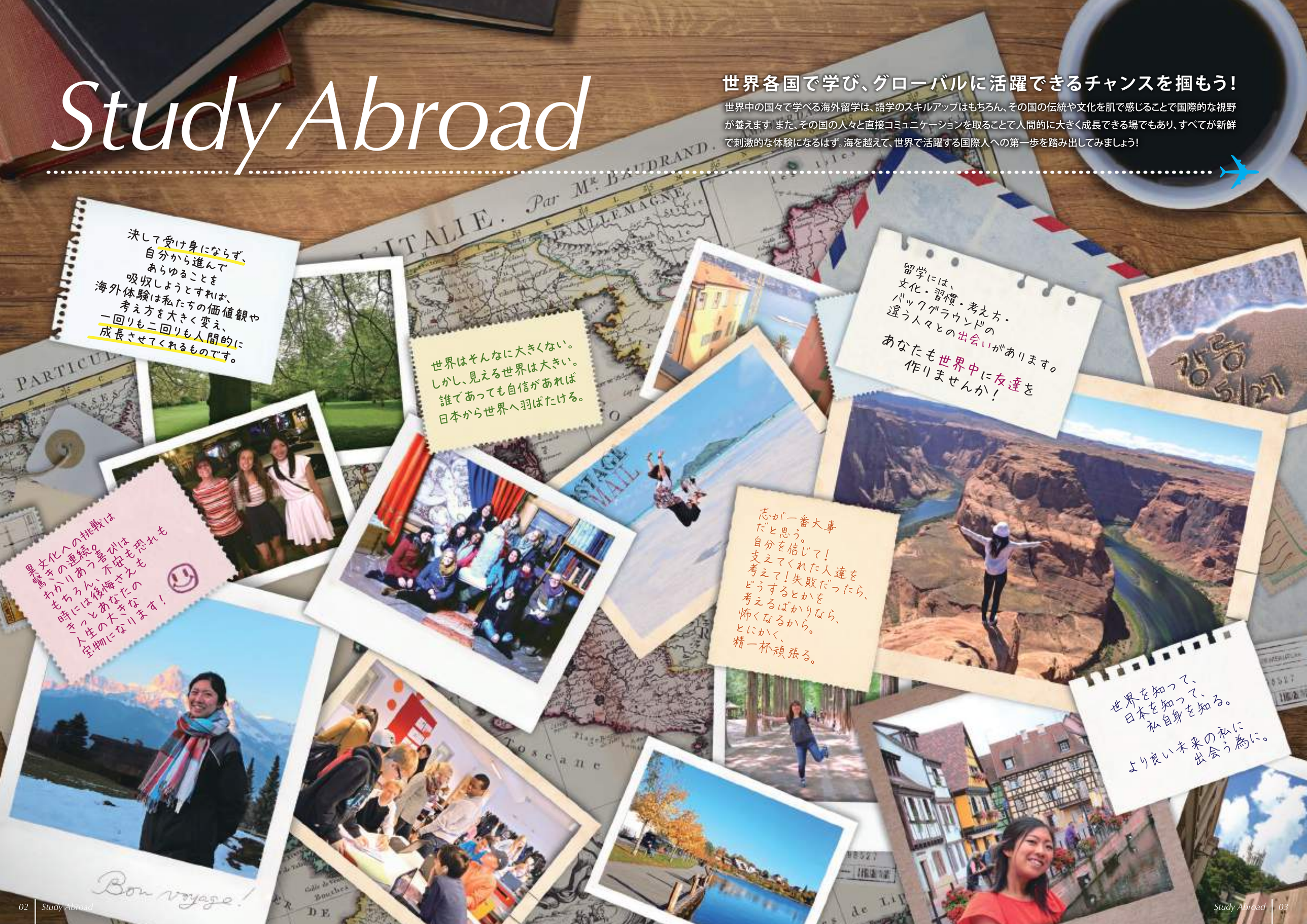
Osaka Kyoiku University Guide to Study Abroad

世界へ飛び立つ。

Study Abroad

世界各国で学び、グローバルに活躍できるチャンスを掴もう!

世界中の国々で学べる海外留学は、語学のスキルアップはもちろん、その国の伝統や文化を肌で感じることで国際的な視野が養えます。また、その国の人々と直接コミュニケーションを取ることで人間的に大きく成長できる場でもあり、すべてが新鮮で刺激的な体験になるはず。海を越えて、世界で活躍する国際人への第一歩を踏み出してみましょう!



プログラムとスケジュール
Program & Schedule

グローバルな感覚を磨くチャンスを活かそう！

交換留学制度（6ヶ月～1年間）

留学はこれからの国際社会を生き抜いていくために必要な力をつける絶好の機会であり、貴重な経験となります。
できるだけ多くの皆さんにこの制度について知っていただき、積極的にチャレンジしていただきたいと思います。

学生交流協定に基づき、本学の学生が海外の協定締結校へ留学し、海外の協定締結校の学生も本学へ留学する制度が、交換留学制度です。大阪教育大学では、海外13ヵ国・地域30校に留学することができます。大学間の協定に基づいた留学制度なので、次のようなメリットがあります。

- 派遣先大学の授業料が免除されます。ただし、本学への授業料は納める必要があります。
- 各自の専門に応じて、開講されている科目の中から自由に選んで履修できます。
- 留学先の大学で取得した単位は、本学で認定されることがあります。
- 留学期間中は、身分上「休学」ではなく、「留学」の身分となります。
- 短期派遣留学生に係る授業料免除制度が適用されます。これは、本学協定校への短期派遣留学生（交換留学生）に対して、派遣開始年度の後期授業料が免除される制度です。ただし、免除対象者は、学内選考時の評価、給付型奨学金受給の有無及び留学期間等を総合的に判断した順位付けに基づき、予算の範囲内で決定します。詳しくは、P.13「留学コラム」のページをご確認ください。

選考スケジュール

選考は年2回（11月と6月）あります。基本的に予定派遣期間が秋学期開始（8月～10月）の大学は11月、春学期開始（1月～3月）の大学については、6月にそれぞれ募集します。詳細については、国際室で配布している募集要項をご参照ください。

11月募集	6月募集	
10月下旬	4月下旬	●募集開始
11月下旬	6月下旬	●選考（面接）、推薦者の決定
1月	7月	●派遣留学生オリエンテーション
2月～	9月～	●派遣先大学への申請手続き ●留学ビザの申請
7月	12月	●派遣留学生オリエンテーション
8月～	1～3月	●派遣留学開始

さらに！ **2019年4月から、新たに認定留学制度が導入されました。**

本学が留学協定を結んでいるカナダ・ビクトリア大学への留学、又はパートナーシップ協定を締結しているJSAF（日本スタディ・アブロード・ファンデーション）をとおして留学することで、留学先で取得した単位を本学の単位として申請することができます。これにより協定校のない国・地域へも単位互換の可能な留学が実現できます。※単位認定されるためには諸条件があります。
詳しくはグローバルセンター教員または学術連携課国際室に問い合わせてください。

語学研修・文化研修（短期研修）

大阪教育大学では、夏休みや春休みに海外の協定校での語学研修・文化研修を実施しています。
様々な内容のプログラムが用意されていますので、きっと素晴らしい体験ができるはずです。

ドイツ語学研修
ドイツ・トリア大学のサマーコースに参加し、ドイツ語とドイツ事情を学びます。コース初日にテストを受け、初級から上級（A1~C1）のクラスに分かれます。滞在はキャンパス内にある学生寮が提供されます。また、希望者は近郊へのエクスカーションにも参加できます。

日程 8月（1ヶ月程度）

アメリカLA語学・文化研修
アメリカ西海岸の中心都市、ロサンゼルスに近いビーチエリアに位置するカリフォルニア州立大学ロングビーチ校での研修です。集中的な英語トレーニングと教育・芸術・娯楽等様々な「文化」の最先端への接触を通して、"The Beach"から世界への第一歩を踏み出してください。

日程 8月中旬～9月中旬（5週間程度）

アメリカ語学研修・観察実習
自然豊かで大西洋に面したノースカロライナ州の大学で生きた英語を学ぶ特別プログラムです。留学先は本学の協定校で、アメリカ南部の公立大学トップテンに入るノースカロライナ大学ウィルミントン校です。現地の小学校や中学校の見学や実習も予定しています。

日程 8月下旬～9月下旬（5週間程度）

韓国語・韓国文化体験研修
韓国語を学び、韓国の学校訪問や文化を体験することを目的とした短期研修です。学生は本学で所定の事前講義を受講したうえで、本学協定校であるソウル教育大学（韓国）に滞在します。韓国語・韓国文化を学ぶ傍ら、同大学附属学校等を訪問し、現地の教育現場を体験します。

日程 9月初旬～中旬（２週間程度）

フランス語学研修
フランス・リヨンカトリック大学でフランス語とフランス事情を学びます。コース初日にテストを受け、初級から上級のクラスに分かれます。滞在はアパートが紹介されます。

日程 9月（1ヶ月程度）

オーストラリア（グリフィス）語学研修
自然豊かなオーストラリア・ブリスベンで5週間、ホームステイをしながら英語を学ぶプログラムです。研修先は、ブリスベンにある本学の協定校、グリフィス大学です。

日程 2月～3月（5週間程度）

アメリカ語学研修・南西部地域研修
メキシコと国境を接するアリゾナ州のアリゾナ大学の附属英語学校で英語とアメリカの文化、歴史、自然について学び、現地の学校も訪問します。大学の授業の聴講もできます。滞在は学生寮でアリゾナ大学の正規学生がルームメートです。

日程 2月～３月（４～５週間程度）

スイス・ジュネーブ大学研修
スイスの中でも国際色豊かなジュネーブで、世界大学ランキングでも上位のジュネーブ大学において英語による授業を受けながら、国際連合やインターナショナル・スクールを訪問し、グローバルな視野を広げる研修です。現地の小学校見学もあります。

日程 3月上旬～中旬（２週間程度）

台湾文化研修
東アジア文明の交差点とも言える台湾で文化研修を実施し、国際交流を学ぶプログラムです。現地では文化研修や教育観察実習を行います。親日的な台湾の学生たちとの交流を通じて、身近ですが未知の世界を探求しましょう。

日程 3月（2週間程度）

オーストラリア（クイーンズランド）語学研修
自然豊かなオーストラリアで5週間、ホームステイをしながら英語を学ぶプログラムです。研修先はオーストラリア全体の中でもトップレベルのクイーンズランド大学。国際色豊かなキャンパスでの生活を送ることができます。

日程 8月下旬～9月上旬（1ヶ月程度）
及び2月～3月

カナダ ビクトリア研修※
ビクトリア大学は、ブリティッシュ・コロンビア州の州都ビクトリアにある総合大学です。バンクーバー島の南端に位置し、年間を通じた温暖な気候と美しいキャンパスという環境下で、様々なニーズにあった英語プログラムを提供し続けています。

日程 9月初旬～（1ヶ月程度）
及び3月初旬～（1ヶ月程度）

留学可能な協定校一覧

海外13ヵ国・地域30校
（一覧は2019年3月現在）

韓国
◎梨花女子大学　◎全州教育大学
◎大邱韓医大学　◎公州大学
◎ソウル教育大学　◎忠南大学
◎清州教育大学　◎釜山教育大学

台湾
◎国立高雄師範大学　◎国立台北教育大学
◎国立台中教育大学　◎国立台湾師範大学

中国
◎東北師範大学　◎同済大学
◎河北師範大学　◎香港教育大学
◎天津大学

ベトナム
◎ハノイ大学
◎ホーチミン市師範大学

アメリカ
ノースカロライナ州3大学コンソーシアム
◎イースト・カロライナ大学
◎ノース・カロライナ大学 ウィルミントン校
◎ウエスタン・カロライナ大学
◎アリゾナ大学
◎カリフォルニア州立大学 ロングビーチ校

カナダ
◎ビクトリア大学 ※交換留学ではありません。

オーストラリア
◎グリフィス大学
◎クイーンズランド大学ICTE

ドイツ
◎トリア大学 言語・文学・メディア学部
◎エアランゲン・ニュルンベルク大学

フランス
◎リヨン第3大学

スウェーデン
◎リンネ大学

フィンランド
◎オーボ・アカデミー大学

スイス
◎ジュネーブ大学

アイルランド
◎リムリック大学語学センター

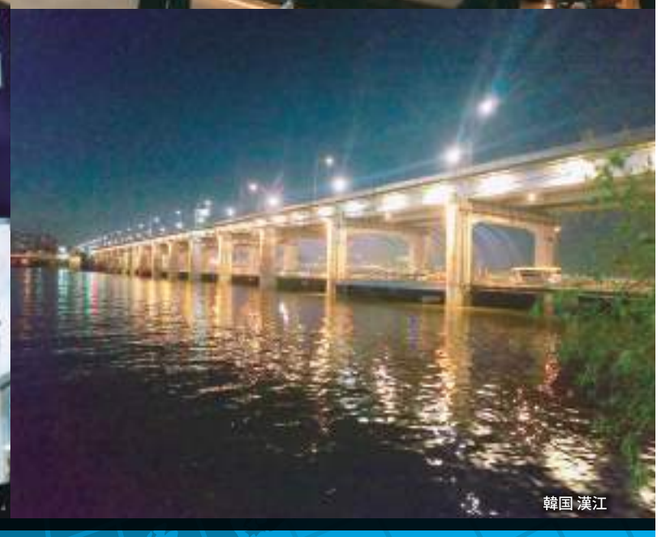
韓国

Korea

韓国 慶州

韓国 ソウル

韓国 ソウル


韓国 漢江

※写真は各国の代表的な都市や風景です。大学のあるところとは異なることがあります。

韓国の概要

大韓民国（Republic of Korea）は日本海を挟んで日本と国境を接する隣国である。
人口は約4,888万人で「道」とよばれる九つの地方行政区、および道と同格の広域市（ソウル特別市、大邱、釜山等）で構成されている。
日本からは飛行機で約２時間程度と近く、海外旅行先としても非常に人気が高い。

交換留学　短期研修　募集人員 3人以内

韓国

梨花女子大学

ミッションスクールとして1886年に創立された、韓国で初めての女子大学。教育学部を含む11の学部・大学院も設置されており、言語教育院では外国人を対象の韓国語教育を行っている。男子学生も受入れ可能。

募集月	コース
6月	11か月（2月～12月）
	7か月（2月～8月）
11月	10か月（9月～翌6月）
	6か月（9月～翌2月）

現地費用目安　約8～10万円／月

必要な言語能力
韓国語（中級程度）、又は英語
＊TOEFL ITP®500点程度
（iBT 61点程度）

学生数　約20,000

交換留学　短期研修　募集人員 3人以内

韓国

ソウル教育大学

首都ソウルにある初等教育教員養成大学。 1946年、京畿公立師範学校として創立され、1949年に国立ソウル教育大学となる。初等教育学科（12課程）と大学院（18専攻）から構成される。

募集月	コース
6月	10か月（2月～12月）
	7か月（2月～8月）
11月	10か月（9月～翌6月）
	6か月（9月～翌2月）

現地費用目安　約8～10万円／月

必要な言語能力
韓国語（中級程度）、又は英語
＊英語のみで申請する場合は
TOEFL®を受験する事が望ましい。
＊TOEFL ITP®又はTOEIC®でも可

学生数　約2,500

交換留学　短期研修　募集人員 3人以内

韓国

大邱韓医大学

韓国第三の都市、大邱広域市に隣接するキョンサン市に位置する。1981年創立。韓医大学という名称ながら、韓医科学部の他に保健福祉学部、文化科学学部、経営・情報学部、建築・デザイン学部も設置されている。外国人に対する韓国語教育も行われている。

募集月	コース
6月	11か月（2月～12月）
	7か月（2月～8月）
11月	10か月（9月～翌6月）
	6か月（9月～翌2月）

現地費用目安　約8～10万円／月

必要な言語能力
韓国語（中級程度）、又は英語
＊英語のみで申請する場合は
TOEFL®を受験する事が望ましい。
＊TOEFL ITP®又はTOEIC®でも可

学生数　約5,500

交換留学　募集人員 2人以内

韓国

全州教育大学

1923年開校の全羅北道公立師範学校が始まりで、1963年国立大学になり、1983年4年制大学となる。国語・社会・数学等の各教育科と初等教育学科の合計12学科で構成される学部および大学院から構成される。

募集月	コース
6月	11か月（2月～12月）
	7か月（2月～8月）
11月	10か月（9月～翌6月）
	6か月（9月～翌2月）

現地費用目安　約8～10万円／月

必要な言語能力
韓国語（中級程度）、又は英語
＊英語のみで申請する場合は
TOEFL®を受験する事が望ましい。
＊TOEFL ITP®又はTOEIC®でも可

学生数　（学部）約1,700
（大学院）約450

交換留学　募集人員 2人以内

韓国

清州教育大学

1941年に設置された清州師範学校が始まり。1962年2月、2年制の国立清州教育大学となる。1984年、4年制に改編された。国語・社会・数学等の各教育科と初等教育学科の合計12学科で構成される学部および大学院から構成される。

募集月	コース
6月	11か月（2月～12月）
	7か月（2月～8月）
11月	10か月（9月～翌6月）
	6か月（9月～翌2月）

現地費用目安　約8～10万円／月

必要な言語能力
韓国語（中級程度）、又は英語
＊英語のみで申請する場合は
TOEFL®を受験する事が望ましい。
＊TOEFL ITP®又はTOEIC®でも可

学生数　約1,800

交換留学　募集人員 2人以内

韓国

公州大学

1948年に設立された公州市にある総合大学。6学部（教育・人文社会科学・自然科学・工学・産業科学・衛生保健）と7大学院（一般・教育・教育情報・経営行政・産業科学・特殊教育・映像芸術）から構成される。

募集月	コース
6月	11か月（2月～12月）
	7か月（2月～8月）
11月	10か月（9月～翌6月）
	6か月（9月～翌2月）

現地費用目安　約8～10万円／月

必要な言語能力
韓国語（中級程度）、又は英語
＊英語のみで申請する場合は
TOEFL®を受験する事が望ましい。
＊TOEFL ITP®又はTOEIC®でも可

学生数　（学部）約19,000
（大学院）約2,800

交換留学　募集人員 2人以内

韓国

釜山教育大学

1946年に開校した釜山にある初等教育教員養成大学。国語・社会・数学等の各教育科と教育学科、幼児教育科の合計13学科で構成される学部および大学院から構成される。留学生のための韓国語コースもある。

募集月	コース
6月	11か月（2月～12月）
	7か月（2月～8月）
11月	10か月（9月～翌6月）
	6か月（9月～翌2月）

現地費用目安　約8～10万円／月

必要な言語能力
韓国語（中級程度）、又は英語
＊英語のみで申請する場合は
TOEFL®を受験する事が望ましい。
＊TOEFL ITP®又はTOEIC®でも可

学生数　（学部）約2,200
（大学院）約400

交換留学　募集人員 2人以内

韓国

忠南大学

1952年に設立された国立総合大学。文系・理系の16学部から構成される。人文学部には日語日文学科もあり、日本との交流も盛んである。所在地の大田（テジョン）は韓国の中央に位置し、ソウルやその他の地方へも容易にアクセス可能である。

募集月	コース
6月	11か月（2月～12月）
	7か月（2月～8月）
11月	10か月（9月～翌6月）
	6か月（9月～翌2月）

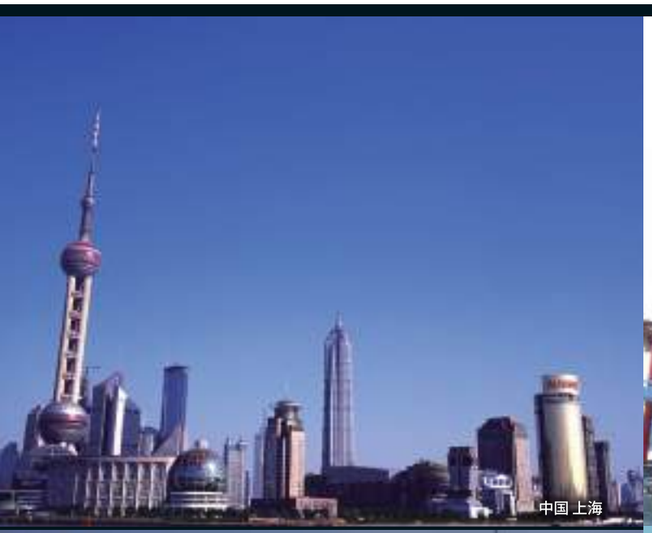
現地費用目安　約8～10万円／月

必要な言語能力
韓国語（中級程度）、又は英語
＊英語のみで申請する場合は
TOEFL®を受験する事が望ましい。
＊TOEFL ITP®又はTOEIC®でも可

学生数　（学部）約25,400
（大学院）約6,050

中国・台湾・ベトナム

China & Taiwan & Vietnam


中国 上海

台湾 高雄

ベトナム ホーチミン

台湾 台北

※写真は各国の代表的な都市や風景です。大学のあるところとは異なることがあります。

中国の概要

長い歴史と広大な土地をもつ中華人民共和国は、日本が最も古くからつながりをもつ国で、国民の94%を占める漢族のほか政府が認定している55の少数民族よりなる多民族国家である。人口約14億人。中国を代表する大都市北京、商業都市として知られる上海をはじめ、西安、広州、桂林など魅力的な都市は中国全土に広がる。偉大な歴史的文化遺産や美麗な景色など、雄大なスケールに惹かれて中国を旅する日本人は後を立たない。

台湾の概要

アジア大陸の東南沿海、太平洋の西岸に位置する島嶼で、台湾本土とその周辺諸島（澎湖諸島・蘭嶼など）、及び金馬地区と東沙諸島・南沙諸島から構成されており、面積は約3万5980km^{2}と九州程度（日本の約10分の1）の大きさである。人口約2,316万人。民間レベルの交流が非常に盛んで親日的なことでよく知られる。

ベトナムの概要

ベトナム社会主義共和国、通称ベトナムから日本への留学生数は、国別第3位となっている。日越外交関係40周年であった平成25年は、両国政府が主となっていろいろな事業が行われ、今後、交流が一層盛んになると予想される。ベトナムを漢字で書くと越南となり、首都ハノイは河内である。

中国

東北師範大学

交換留学　募集人員 3人以内

募集月	コース
6月	12か月（2月～翌1月）
	6か月（2月～7月）
11月	11か月（9月～翌7月）
	5か月（9月～翌1月）

現地費用目安　約5万円／月

必要な言語能力
中国語

学生数　約22,000

1946年に創立された中国吉林省長春にある教師人材の育成を行っている総合大学。19学部あり、附属の中学校、実験学校、小学校、幼稚園もある。2000年に浄月潭地区に新キャンパスが完成した。

中国

河北師範大学

交換留学　募集人員 3人以内

募集月	コース
11月	11か月（9月～翌7月）

現地費用目安　約5万円／月

必要な言語能力
中国語

学生数　約33,000

河北省石家庄市にある。1902年に創立された北京順天府学堂を前身とする河北師範学院と天津の北洋女師範学堂を前身とし、現在は、哲学・法学・経済学・文学・歴史学・教育学・理学・工学等の学科を有する総合大学。

台湾

国立台北教育大学

交換留学　短期研修　募集人員 2人以内

募集月	コース
6月	12か月（2月～翌1月）
	6か月（2月～7月）
11月	11か月（9月～翌7月）
	5か月（9月～翌1月）

現地費用目安　約5～6万円／月

必要な言語能力
中国語

学生数　約4,300

台北市に位置する、110年以上の歴史を有する国立の小学校教員養成機関で、教育学部、人文芸術学部、理学部と大学院修士・博士課程を擁する。中国語教育センターでは語学研修を実施している。

台湾

国立台中教育大学

交換留学　募集人員 2人以内

募集月	コース
6月	12か月（2月～翌1月）
	6か月（2月～7月）
11月	11か月（9月～翌7月）
	5か月（9月～翌1月）

現地費用目安　約5～6万円／月

必要な言語能力
中国語

学生数　（学部）約3,000
（大学院）約1,600

台中市にある国立の小学校教員養成大学。前身となる台中師範学校は台湾中部の教師養成の中核を担う大学であった。教育学・特殊教育・幼児教育等の6学科からなる教育学院の他、人文社会芸術学院、数理情報学院の3学院で構成されている。

ベトナム

ハノイ大学

交換留学　募集人員 2人以内

募集月	コース
6月	6か月（1月～6月）
11月	11か月（8月～翌6月）
	6か月（8月～翌1月）

現地費用目安　約6万円／月

必要な言語能力
ベトナム語または英語

学生数　約12,000

ハノイ大学は、1959年に設立されたハノイ外国語大学が前身である。国内有数の名門大学であり、特に外国語大学としてトップの実績を持つ。学生数は約12000名で、留学生は約600名である。日本語をはじめ、中国語、ロシア語、スペイン語、フランス語など11言語の学科を有する外国語学部の他に、経営・観光学部、情報工学部、国際関係学部、ベトナム学学部がある。

中国

同済大学

交換留学　募集人員 3人以内

募集月	コース
11月	11か月（9月～翌7月）

現地費用目安　約5万円／月

必要な言語能力
中国語

学生数　約44,000

1907年に創立された上海にある総合大学。4つのキャンパスがあり、工学、理学、経済、文学、法学、医学など様々な学部を持ち、国家重点大学にも指定されている。6つの附属病院と3つの附属学校がある。

中国

香港教育大学

交換留学　募集人員 3人以内

募集月	コース
6月	12か月（1月～12月）
	6か月（1月～6月）
11月	10か月（9月～翌6月）
	4か月（9月～翌12月）

現地費用目安　約5～6万円／月

必要な言語能力
英語
＊TOEFL iBT® 80点
＊IELTS 6.0

学生数　約6,000

1994年に4つの教員養成機関と語学教育機関を統合して設立された。文理学部と専門教育・幼児教育学部の２学部、大学院修士課程、博士課程がある。大埔キャンパス内には小学校と幼児教育センターがある。

台湾

国立高雄師範大学

交換留学　募集人員 2人以内

募集月	コース
6月	12か月（2月～翌1月）
	6か月（2月～7月）
11月	11か月（9月～翌7月）
	5か月（9月～翌1月）

現地費用目安　約5～6万円／月

必要な言語能力
中国語

学生数　約7,600

高雄市にある国立の教員養成大学。擁し、教育学系・特殊教育学系・体育学系の３学科および７大学院からなる教育学院他、理学院、科学技術学院、文学院、芸術学院の５学院で構成されている。

台湾

国立台湾師範大学

交換留学　募集人員 2人以内

募集月	コース
6月	12か月（2月～翌1月）
	6か月（2月～7月）
11月	11か月（9月～翌6月）
	5か月（9月～翌1月）

現地費用目安　約5～6万円／月

必要な言語能力
英語または中国語
＊TOEFL- ITP550点程度

学生数　（学部）約7,300
（大学院）約7,500

台北市にある国立の教員養成大学。教育、文、理、芸術、科学技術、運動・レジャー、国際、音楽の8学部、24大学院がある。日本統治時代の旧制台北高等学校の旧校舎を今も使っており、李登輝前総統らが学ぶなど親日的な校風。

ベトナム

ホーチミン市師範大学

交換留学　募集人員 2人以内

募集月	コース
6月	6か月（3月～8月）
11月	11か月（9月～翌7月）
	5か月（9月～翌1月）

現地費用目安　約6万円／月

必要な言語能力
ベトナム語または英語

学生数　約17,000

ホーチミン市師範大学は、1957年に設立されたサイゴン国家師範大学が前身で、ベトナムでの最重点校の一つである。1995年には、ホーチミン市国家大学と合併したが、1999年に新たにホーチミン市師範大学となった。20の学科を擁し、ベトナム最大級の教員養成系大学である。

アメリカ・カナダ・オーストラリア

USA & Canada & Australia

アメリカ シャーロット

カナダ ビクトリア

アメリカ グレートスモーキー国立公園

オーストラリア ブリスベン

※写真は各国の代表的な都市や風景です。大学のあるところとは異なることがあります。

アメリカの概要

北アメリカ大陸および北太平洋に位置する連邦共和国である。本土の48州と、飛び州のアラスカとハワイの2州、連邦直属の首都ワシントンD.C.から構成されるほか、海外領土としてプエルトリコ、アメリカ領サモア、グアム、ヴァージン諸島などがある。イギリスの北米植民地が1776年7月4日に独立を宣言して成立した国家で面積約935万平米、日本の国土と比較すると約25倍の広大な国土を持つ。人口約3億1,500万人。日本からの海外留学先として最も人気が高い。

カナダの概要

カナダは、北アメリカ大陸北部に位置し、10の州と3の準州を持つ、連邦立憲君主制国家である。首都はオタワ。イギリス連邦加盟国であり、英連邦王国の1国である。人口は約3,500万人で、世界で2番目に大きい面積の国土を持つ。世界中から集まった人々が、互いに尊敬し合い、調和して暮らす多文化の国である。カナダの大学は、数校例外を除き、州立大学であるため、大学間のレベル差はなきに等しく、世界的にみても、高水準の教育を提供している。

オーストラリアの概要

オセアニアに位置する連邦立憲君主制国家。イギリス連邦加盟国であり、英連邦王国の一国。オーストラリア大陸とタスマニア島及び、その他の小さな島で構成され、六つの州とその他の特別地域に区分されている。コアラやカンガルーなどの有袋類、カモノハシ、ハリモグラなどの単孔類、国鳥のエミューに代表されるように、地理的隔離と気候の多様性が生んだ極めて個性的な生態系をもつ。人口約2,300万人。豊かな文化的背景を持ち、様々な様式の料理や音楽、ダンス、スポーツ等がさかんなオーストラリアを留学先に選ぶ日本人も多い。

交換留学　募集人員 3人以内※1

アメリカ

イーストカロライナ大学

ノースカロライナ州グリーンビルにある州立大学。教員養成大学として1907年に創立された。教育学部は優秀な教員を輩出しており、健康管理、芸術の分野でも卓越した教育プログラムを提供している。

募集月	コース
11月	10か月（8月～翌5月）
	5か月（8月～12月）

現地費用目安　約11～13万円／月

必要な言語能力
英語
＊TOEFL iBT® 80点　※2
＊IELTS 6.5

学生数　約27,000

交換留学　短期研修　募集人員 3人以内※1

アメリカ

ノースカロライナ大学ウィルミントン校

1947年に創設されたノースカロライナ州ウィルミントンにある州立大学。海洋生物学に関する研究で有名。教育学部は毎年優秀な教師を送り出している。

募集月	コース
11月	10か月（8月～翌5月）
	5か月（8月～12月）

現地費用目安　約11～13万円／月

必要な言語能力
英語
＊TOEFL iBT® 71点　※2
＊IELTS 6.0

学生数　約13,700

交換留学　募集人員 3人以内※1

アメリカ

ウエスタンカロライナ大学

前身が1889年に創設されたノースカロライナ州西部カロウィーにある州立大学。教育でのコンピュータ利用については先進的な大学。

募集月	コース
11月	10か月（8月～翌5月）
	5か月（8月～12月）

現地費用目安　約12万円／月

必要な言語能力
英語
＊TOEFL iBT® 68点　※2
＊IELTS 6.0

学生数　約10,000

認定　募集人員 10人以内

カナダ

ビクトリア大学（注1）

カナダ、ブリティッシュ・コロンビア州の州都ビクトリアにある総合大学で、学生数約19,000人。大学には留学生が英語を上達するのに快適な環境が整っており、キャンパス内の中心にあるELCは大学のアカデミックサポートや学生向けサービスにも通じている。

募集月	コース
11月	8か月（9月～翌4月）
	4か月（9月～12月）

現地費用目安　相談して下さい

必要な言語能力
英語
＊TOEFL iBT® 90点
サブスコア20点以上
＊IELTS 6.5
サブスコア6.0以上

学生数　約19,000

（注1）ビクトリア大学については交換留学ではないので、授業料等が発生します。
詳しくは国際室までお問い合わせください。

交換留学　短期研修　募集人員 2人程度

オーストラリア

グリフィス大学

クイーンズランド州にある総合大学。1971年設立。ブリスベンとゴールドコーストに全部で5つのキャンパスがある。119カ国からの留学生8,800人以上が学ぶ。

募集月	コース
6月	9か月（2月～10月）
	5か月（2月～6月）
11月	4か月（7月～10月）
	8か月（7月～翌2月）※3

現地費用目安　約8～9万円／月

必要な言語能力　英語
＊TOEFL iBT® 71点
サブスコアWriting：19点以上，
その他：17点以上
＊IELTS 6.0
サブスコア5.5以上

学生数　約43,000

※1. アメリカ3大学合わせて4～5人程度
※2. TOEFL ITPでも可能な場合があります。詳しくはグローバルセンター教員に問い合わせること。
※3. 11月～2月は履修科目等に制限があるため、詳細はグローバルセンター教員に確認してください。
※TOEFL®の点数は変更される可能性があります。必ずグローバルセンター教員に確認してください。

TOEFL®・IELTS テストについて

留学コラム

交換留学を目指す人にとっての登竜門であるTOEFL®・IELTSなどの語学能力テスト。今まで英検やTOEICは受検したことがあってもTOEFL®やIELTSの勉強をした、また受検したことがある人は少ないのではないでしょうか？ これらのテストは世界中の数多くの大学で英語力評価テストとして認められていて、大阪教育大学の交換留学制度を利用して英語圏の大学に留学する場合にも受検が必要です。どちらも大学生活で必要な場面やアカデミックなテーマに関する問題が盛り込まれています。ここでは米国ETSが開発したTOEFL®に焦点を絞って紹介します。

	TOEFL iBT®	TOEFL ITP®（レベル1）	IELTS
形　態	公式の一般試験	非公式の団体試験	公式の一般試験
点　数	0~120	310~677	1.0～9.0
時　間	約4時間（10分休憩あり）	約2時間	Reading / Listening / Writing 2時間45分 Speaking 15分程度
形　式	完全コンピューター制	マークシート	筆記
科　目	Reading / Listening / Speaking / Writing	Listening / 文法 / Reading	Reading / Listening / Speaking / Writing
内　容	大学の講義やキャンパスライフ	大学の講義やキャンパスライフ	大学の講義やキャンパスライフ
受験料	235ドル（2019年3月現在） （大阪教育大学教育振興会会員は2千円の補助あり）	4,100円（2019年3月現在）	25,380円（2019年3月現在）
開　催	ほぼ毎週実施	年に3回（学内で受験可能）	月2～3回程度

TOEFL®テストには主に2種類あります。

ここからは、TOEFL iBT®の特徴とポイントを取り上げ、それに対する勉強対策やアドバイスを紹介しますので参考にして下さい。

①パソコンと4時間にらめっこ

画面上で英文を長時間読むという作業は、予想以上に疲労します。また、線が引けないため読みづらい、英式キーボードの使い方が分からないなど意外な難点が出てくるかもしれません。日頃からパソコンで英文を扱う練習をし、慣れておきましょう。

②４技能マスター

120点の内訳は30点×4セクションなので、まんべんなく取れることが目標点数への近道です。Speakingが苦手だと思っていても、受けてみるとReadingの方がスコアが低かったりします。まず一度受験し、弱点を客観的に把握すること、それから勉強スケジュールを立てましょう。

③Listeningと語彙

iBTではListeningセクション以外でも聞き取りが出来なければ答えられないという問題が頻繁に出題されるので、Listeningが苦手ならもちろん、得意であっても重点的に勉強しましょう。例えば、会話を「聞いて」内容をまとめる・意見を言う（Speaking）、講義を「聞いて」論述する（Writing）などです。また、TOEFLではアカデミックな場面における英語力が試されるため、様々な専門分野における基本的な語彙を身につけておくこと。5分程度の講義は集中を切らすことなく聞けるように、繰り返し練習して準備しましょう。

④SpeakingとWriting

SpeakingやWritingなどのテストは未知である人が多いかもしれませんが、欧米式の英文作成ルールを学習し、練習を重ねれば難しくはありません。絶対に自己流でやらないで下さい。その他、様々なトピックに対して決められた時間内で自分の意見が言えるように日頃から練習しておきましょう（この練習は日本語でも可）。

⑤TOEFL® テスト説明会

毎年学内で開催されていますので、ぜひ参加しましょう。iBTスキルアップ講座も開かれています。グローバルセンターの掲示に注意して下さい。

⑥語学留学ではない

交換留学では実際大学に生活拠点を置き、現地の学生に交じって講義を受けるので、異文化を意識したかつアカデミックな英語学習を心がけなければなりません。一般的な習慣やマナーを知識として知っておくこと、また講義対策として自身の専攻科目は最低限、iBTのテストに関しては「心理学」「生物学」「考古学」など多種多様な科目を、カバーするようにしましょう。

メモのヒント　iBTではメモ用紙が配布されます。ストーリーの流れを追いながらキーワードを中心にメモを取り、あとで話をつなげられるようにしましょう。

TOEFL®テストの情報は常に更新されます。
詳しくはETSやCIEEのウェブサイトで確認したり、「ETS公認ガイド」「公式問題集」などを参考にしてください。

ヨーロッパ

Europe

スウェーデン ストックホルム

ドイツ ニュルンベルグ

フィンランド ヘルシンキ

フランス リヨン

※写真は各国の代表的な都市や風景です。大学のあるところとは異なることがあります。

スウェーデンの概要

スウェーデン王国はスカンディナヴィア半島に位置する立憲君主制国家で北欧最大の国。首都はストックホルム。人口約934万人。先祖は9世紀前後にヴァイキングの名で知られた海洋民族で、旧市街ガムラ・スタンのレトロな雰囲気と、最新のショップやレストランなどが混在する、首都ストックホルムは北欧諸国で最も洗練された町とも言われる。先進国の中でも高福祉国家とされるスウェーデンの社会福祉制度に関心を寄せる日本人は多い。

ドイツの概要

ドイツ連邦共和国はヨーロッパ中部に位置する連邦共和制国家である。首都はベルリン。人口約8,175万人。ドイツは他のヨーロッパ諸国に見られるような一極集中の都市(ロンドン、パリなど)を持たず、自由都市や小さな領邦国家の集まりだった中世からの歴史が、個性的な地方文化をもたらした。東西統合の歴史を語るベルリン、国際都市フランクフルト、新旧の文化が共存するミュンヘンなど、見所も数多い。本学協定先の大学があるエアランゲン(Erlangen)はドイツバイエルン州北部の都市。

フィンランドの概要

フィンランド共和国は北ヨーロッパに位置する共和制国家。スカンジナビア半島の内側、バルト海の一番奥にあり、日本から最も近いヨーロッパの国。人口約535万人。童話のムーミン、そしてサンタクロースの故郷として知られている。国土の　8割が森林と18万を数える湖沼などの自然からなり、北極圏にあたる北部は冬にオーロラが見られるリゾート地が点在している。フィンランドの教育水準は世界トップで、教育における「フィンランドメソッド」は日本でも近年高い注目を集めている。

フランスの概要

フランス共和国は西ヨーロッパ西部に位置する共和制国家である。モン・サン・ミッシェルやヴェルサイユ宮殿など数多くの歴史遺産、豊かな農産物と王制時代の宮廷文化を背景にしたフランス料理、ワインにスイーツ、芸術家たちを虜にしたパリの都、など多彩な魅力に溢れ、多方面から人々を魅了し続けている。人口約6,450万人。音楽、美術、料理を学ぶためにフランスに渡る日本人も多く、在仏日本人は3万人を越える。

スウェーデン

リンネ大学

交換留学　募集人員 3人以内

募集月	コース
11月	4か月（9月～12月）
	10か月（9月～翌6月）

現地費用目安　約7～8万円／月

必要な言語能力
英語
＊TOEFL iBT® 76点　＊IELTS 6.0
詳しくはグローバルセンター教員に確認すること

学生数　約15,000

1967年に創立されたベクショーにある南スウェーデンで2番目に大きな国立大学。経営・経済、人文、技術・デザイン、教育、社会科学、健康科学、数学・システム工学の７学部がある。環境問題に関する研究では世界的に有名。

ドイツ

トリア大学　言語・文学・メディア学部

交換留学　募集人員 3人以内

募集月	コース
6月	12か月（3月～翌2月）
	6か月（3月～8月）
11月	12か月（9月～翌8月）
	6か月（9月～翌2月）

現地費用目安　約6～7万円／月

必要な言語能力
ドイツ語検定試験3級

学生数　約15,000

トリア大学は1970年に再建された新しい大学（旧大学1473創立ー1783廃止）で、６つの学部と神学部から構成されており、本学は第2学部（言語・文学・メディア学部）と交流協定を締結している。トリアはラインラント・プファルツ州にあり、古代ローマの遺跡が残るモーゼル河畔の都市。

ドイツ

エアランゲン・ニュルンベルク大学

交換留学　募集人員 3人以内

募集月	コース
6月	12か月（3月～翌2月）
	6か月（3月～8月）
11月	12か月（9月～翌8月）
	6か月（9月～翌2月）

現地費用目安　約6～7万円／月

必要な言語能力
ドイツ語技能検定試験３級

学生数　約26,000

バイエルン州で２番目に大きな大学。神学、法学、医学、哲学、自然科学、経済社会科学、工学、教育学などの11学部があり、そのうち９学部はエアランゲンに、２学部はニュルンベルクにある。1743年創立。

フィンランド

オーボ・アカデミー大学バーサ校

交換留学　募集人員 2人以内

募集月	コース
11月	9か月（9月～翌5月）
	4か月（9月～12月）

現地費用目安　約7～8万円／月

必要な言語能力
英語
＊TOEFL iBT® 78点　＊IELTS 6.0
詳しくはグローバルセンター教員に確認すること

学生数　約8,000

1918年に設立されたコインブラ・グループ（ヨーロッパの研究大学連合）に参加する北欧屈指の大学。メインキャンパスは、トゥルク市にあるが、交流先は教育学部のあるバーサ校となる。スウェーデン語圏にあるため、スウェーデン語と英語によって授業を受ける。

フランス

リヨン第３大学

交換留学　募集人員 3人以内

募集月	コース
11月	10か月（9月～翌6月）
	5か月（9月～翌1月）

現地費用目安　約6～7万円／月

必要な言語能力
フランス語技能検定３級程度

学生数　約23,000

フランス第２の都市リヨンにある総合大学。リヨン大学の一部であり、リヨン大学の再編成により1973年にリヨン第３大学となった。法学、ビジネス、外国語、人文、哲学、工学の6学部がある。

留学資金について

留学コラム

大阪教育大学の交換留学制度では、留学先の大学への授業料を支払う必要はありません。（大阪教育大学へ授業料を納める必要はある。ただし、授業料の一部免除制度があります（後述））。とはいっても留学には沢山のお金が必要です。基本的に必要な経費として、渡航費・食費・寮費・テキスト代・衣服・娯楽費・旅行費などがあります。また、留学までに、TOEFL等の受検料、パスポート・ビザの申請料・海外旅行保険代（留学生用の保険）などが必要です。国や地域によって現地で必要な費用は違うのでよく調べてください。グローバルセンター教員のオフィスアワー等で相談する事ができます。

お金の管理

現地で銀行口座を開設する人が多いです。留学先大学でのオリエンテーションで説明してくれる事が多いですが、分からない場合は担当の先生や派遣先大学に確認してください。日本から海外銀行口座に送金する場合は、高額の手数料が取られるので、注意してください。基本的な生活等に関しては、クレジットカード（VISA等）があれば大丈夫ですが、紛失等の事故も起きる可能性があるので、2枚以上用意していくと良いでしょう。ただ、学生の場合、様々な制限が設定されているので、寮の家賃等の特定の支払いがカードでは出来ないこともあります。銀行口座をすぐに開設できれば問題ないですが、1日で開設し、日本からの送金が完了するわけではないので、当初はある程度の現金が必要になります。

奨学金制度

日本学生支援機構（JASSO）では、貸与型と給付型の奨学金制度があります。

【貸与型】「第二種奨学金（短期留学）」（有利子貸与）
http://www.jasso.go.jp/saiyou/tanki_ryuugaku.html

交流協定等に基づく大学、大学院への短期留学を対象とした貸与型の奨学金（３ヶ月以上1年以内）です。学長の推薦を得て留学する前に申込む「予約制度」となっています。詳しくは学生支援課奨学厚生係に問い合わせてください。

【給付型】「官民協働海外留学支援制度 トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」
http://tobitate.jasso.go.jp

短期留学生（留学期間1か月以上2年以内）を対象とした奨学金です。支給月額は日本円で12～16万円（※）で、そのほか渡航費等の支給もあります。事前・事後研修があり、フィールドワーク等の現地での活動計画により選考されます。詳しくは学術連携課国際室に問い合わせてください。※留学先地域により異なる（2020年度募集で終了予定）

【給付型】「海外留学支援制度（短期派遣）」
http://www.jasso.go.jp/scholarship/short_term_h.html

短期派遣のプログラム参加者（交換留学を含む）を対象とした奨学金です。支給月額は6～10万円（※）です。大学がプログラム毎に奨学金を申請し、採用されたプログラムの参加者に奨学金が支給されます。支給対象者はプログラム毎に学内で選べます。詳しくは学術連携課国際室に問い合わせてください。
※留学先地域により異なる

派遣留学生の授業料免除制度

大阪教育大学では、学生の海外留学を奨励し、経済的な負担を軽減するために「短期派遣留学生に係る授業料免除制度」を実施しています。これは、協定校に留学する派遣留学生（交換留学生等）に対して派遣開始年度（※）の大阪教育大学の後期授業料が免除される制度です。ただし、免除対象者は、学内選考時の評価、給付型奨学金受給の有無及び留学期間等を総合的に判断した順位付けに基づき、大学の予算の範囲内で決定されます。年間で免除可能な総額が決まっていますので、派遣留学生全てが必ずしも授業料免除されるわけではありません。免除の可否は派遣年度の12月頃通知されます。

※

6月募集	募集年度
11月募集	募集の翌年度

現地でのアルバイト

あまり期待しない方がいいです。給料としては非常に少なく、また、現地での勉強は非常にハードなのでお勧めしません。

Message

先輩たちの留学体験談

短期研修

ノースカロライナ大学ウィルミントン校（アメリカ）
留学期間：2012年8月〜9月

加藤 晃浩 さん

学校教育教員養成課程　英語教育専攻

アメリカ生活を堪能

1ヶ月間はあっという間に過ぎ去り、現地では休む間もないほど動き回って本当に楽しい時間を過ごしました。海外に行くこと自体が初めてだったので、行く前は多少の不安もありましたが、着いてからは自分の英語が案外通じたことも助けとなり、一気にアメリカの世界に積極的に踏み込んでいきました。初めて経験することもたくさんあり、毎日が新鮮で寝る時間も削ってアメリカ生活を堪能してきました。毎晩それらを日記につづり、思い出に残しています。（友達の家で一晩過ごした日は次の日に書きました。）観光や机上の勉強ももちろん自分にとって大切でしたが、やはり得た中で自分にとって一番大きいものは向こうでの友達です。

僕は今英語の教師を目指して頑張っていますが、この語学研修によって自分で英語を勉強していくモチベーションが上がったことは間違いありません。もちろんこの1ヶ月で多少なりとも英語力そのものが伸びているのもしっかりと感じることができます。

現地では私たち以外にも多様な国から人が集まっており、彼らと一緒に授業を受けて英語を学ぶことは大変刺激的で、文化面でもいろいろ学ぶことができました。このプログラムではホームステイが一晩できるプランも用意されており、それもまた自分にとって忘れられない経験です。最後の３日間アメリカの小学校に訪れたときは、小学生の元気さに一瞬戸惑いましたが、最終的にうまく日本文化を紹介することができて、グラウンドで皆に追いかけられるほど人気者になれました。本当に楽しい一ヶ月だったの一言につきます。もう一度行きたいです。

短期研修

グリフィス大学(オーストラリア)
留学期間：2014年2月〜3月

後藤 香織 さん

養護教諭養成課程

オーストラリアでの生活で得たこと

オーストラリア語学研修に参加して良かったと思うことは、研修先で様々な国籍の人々と交流できたことです。はじめは英語が通じないことや表現方法の限界などにもどかしさを感じましたが、同じ大学の方々の助けやクラスメイトからの働きかけがあり、だんだん積極的に行動できるようになりました。語学研修に参加するためには色々な準備をしたり諸々の費用がかかりますが、私の場合、それは自分だけの力ではなく周りの人々の助けがあってこそできたことでした。このことはホームステイ先のホストマザーと話す中で気付けたことの一つであり、家族の大切さをしみじみと感じることができました。オーストラリアでは、慣れないバス通学、ホームステイ先での生活、シドニーへの旅行、クラスで外国の友達ができたことなど初めて体験することが多く、内容の濃い5週間となりました。この体験で得たことは今後に生かしていけると思います。

交換留学

梨花女子大学（韓国）
留学期間：2014年9月〜12月

遠藤　朝 さん

大学院　保健体育専攻

異文化に触れる

韓国の梨花女子大学での交換留学は、たくさんの発見と興味に出会えた4ヶ月間でした。大学では、英語で開講されている授業を受けながら、韓国の学生の言語力やプレゼンテーション能力の高さを目の当たりにし、休みの日は、韓国グルメや観光を堪能しながら、日本と通じる部分や韓国ならではと思う部分を発見したりと、異文化に触れる面白さを実感しました。同時に、日本という国が誇らしく、世界中の人に日本のことをもっと知って欲しいという気持ちが強くなり、そのために、自分から発信できる語学力がもっと必要であると強く感じました。

大学院生になって、自分なりに目的を持って留学したことで、刺激的な毎日を送ることができました。このような機会を与えてくださったことに感謝するとともに、今後の学びに活かしてきたいです。

多くの方々に、たくさんの文化との出会い、新しい自分との出会いが待っている留学にぜひチャレンジしてほしいです。

交換留学

エアランゲン・ニュルンベルク大学（ドイツ）
留学期間：2012年9月〜2013年8月

小笠原 沙紀 さん

教養学科　芸術専攻

言語は文化

ドイツのイメージといえばビールとソーセージ…？イメージをはるかに超える知らない世界が留学先には広がっていました。寮の外は森、独特なクリスマスの雰囲気、生活に根付く信仰、そして太陽の有り難さ…。この一年間は大学へ行っても、友達と話しても、買い物へ行っても、全てが勉強、そして冒険でした。留学先では世界中の人たちとも繋がることができます。そして何より日本に生きる自分という存在を色んな角度から考えることができます。もちろん多くの失敗や、挫折もありましたが、それも全て自分を形成する経験です。厳しかった語学集中講座も今では本当に素敵な思い出です。「言葉は文化」、その国の言葉でしか伝えられない感情、思いがあります。それは現地で一番学んだこと。全く異なる環境での一年はこれからの人生の機転となる一年だと言えます。音楽、人との出会い、自然、建築、ドイツで感受したもの全てが今の自分の生きるエネルギーに繋がっています。

Q&A

交換留学のココが知りたい！

Q1 交換留学制度ではどのような国、大学へ行くことができますか？また、派遣期間はいつからですか？

A1 交換留学制度では、タイ、ベトナム、中国、台湾、韓国、アメリカ、オーストラリア、ドイツ、フランス、スウェーデン、フィンランド、留学制度ではカナダへ行くことが可能です。詳細は各国のページを参照してください。

Q2 どのように選抜されるのですか？

A2 募集は年２回（11月と6月）行っています。基本的に予定派遣期間が秋学期開始（8月〜10月）の大学は11月募集、春学期開始（1月〜3月）の大学については、6月募集です。選考は、申請書類、面接などによって学内選抜します。語学力はもとより、大阪教育大学を代表する交換留学生としてふさわしいかどうか、目的意識がはっきりしているかなど全てを総合的に判断します。面接は12月上旬（11月募集）、７月上旬（６月募集）に実施しています。日程は変更する場合がありますので、募集要項で確認してください。

Q3 留学先の単位は認定されますか？

A3 留学先の大学で修得した単位は、本学の単位として認定されることがあります。留学先で成績証明書、講義概要、担当教員の推薦書など（講義の内容、受講時間数が分かるもの）の関係書類を受け取り、帰国後必要な手続きを行ってください。場合によっては書類を日本語に訳すことなどが求められます。修得された単位がすべて自動的に認められるのではなく、大阪教育大学側の審査を経て認定されるかが決まります。

Q4 奨学金はありますか？

A4 日本学生支援機構（JASSO）による貸与型の奨学金と給付型の奨学金があります。詳しくは、P.13の留学コラム「留学資金について」を参照してください。

Q5 交換留学生は授業料が免除されると聞きましたが、本当ですか？

A5 学生の海外留学を奨励し、経済的な負担を軽減するために「短期派遣留学生に係る授業料免除制度」を平成23年度に新設しました。　ただし、全員が免除されるとは限りません。詳しくは、P.13の留学コラム「留学資金について」を参照してください。

● 留学や海外短期研修に関する相談は

グローバルセンター教員が皆さんにていねいにアドバイスします。オフィスアワー※にぜひ来てください。お待ちしています。

メールでの連絡先（件名をはっきりお書き下さい）

isc@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

※オフィスアワーはセンターホームページ参照
外国語学習支援ルームについては別のリーフレットをご覧ください。

Q6 留学しても４年間で卒業できますか？

A6 計画的に履修を行い、留学先の大学で修得した単位を本学の単位として認定されれば、卒業することは不可能ではありません。ただし、教育実習の日程や履修状況によっては、難しいこともあるでしょう。留学前にグローバルセンター教員や指導教員に相談することをお勧めします。

Q7 留学すると就職活動に影響があるのではないですか？

A7 日本の企業に就職したい場合には、卒業・修了前年度の6月から就職活動が開始されます。留学中であっても志望する企業についてインターネットで情報収集を十分に行い、エントリー（資料請求）しておくことが必要です。なお、企業は今後海外事業を積極的に展開する傾向にあり、グローバルな人材を求めています。この機会にあなたの留学経験を生かしましょう!また、海外留学で留学した場合でも、留学の目的意識をしっかりと有し、留学した経験を企業にアピールできれば不利になることはありません。教員や公務員を志望する場合には、留学中に十分な筆記試験対策を行うのは難しいかと思いますが、教育委員会等でも、企業と同様に多様な経験を有する人材を求めています。留学する前には、一度キャリア支援センターに留学後の就職について相談してみましょう!

Q8 TOEFL®テストで良いスコアが出せません。

A8 日本人はTOEFL iBT®テストが苦手であると言われますが、きちんとテストの特徴や問題形式を理解し、それに対する自身の弱点分析が出来れば決して難しいものではありません。大切なことは、点数を取らなければということだけに頭がいってしまわないよう「なぜ留学したいのか」「留学に行ったらどんなことがしたいのか」など本来の目的をいつも自分に問いかけることです。留学生と交流したり、日本人の留学経験者などから話を聞いたりして、留学生活のイメージを膨らませ、モチベーションを上げることも一つの方法でしょう。交換留学は本当に想像以上の貴重な経験がたくさんできる最大の場です。ぜひトライしてください!また、大学では次のような受験対策や授業を行っているので、ぜひ活用してください。

- ○ TOEFL説明会
- ○ TOEFL ITPテスト（レベル1）
- ○ TOEFL iBTスキルアップ講座、TOEFL iBTオンライン模試
- ○ TOEFL ITPテスト対策授業「英語IIa」（柏原キャンパス学生のみ）

Q9 協定校の詳しい資料や情報はどのように入手できますか？

A9 協定校から送られてくる資料は、グローバルセンターに保管していますので、自由に閲覧することが可能です。また、各校のウェブサイトも調べてください。

国立大学法人
大阪教育大学

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘 4-698-1
URL https://osaka-kyoiku.ac.jp/

グローバルセンター
Tel:072-978-3299 Fax:072-978-3554
E-mail isc@cc.osaka-kyoiku.ac.jp
URL https://ger.osaka-kyoiku.ac.jp/

2019 年 3 月発刊